

福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

がん相談支援センターにご相談ください

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、全国に設置されたがんの相談窓口です。福島県内には9つの病院に設置されており、当院ではきぼう棟2階に設置されています。

「がんと診断された時の不安」、「体や気持ちのつらさについて」、「治療費の支払いについて」、「お仕事について」、「今後の治療の選択」、「医療・福祉サービスを利用したい」など、がんに関して疑問や不安を感じたときは、一人で悩まずにどんなことでもご相談ください。「何を相談してよいか分からない」といった相談でも構いません。専門の相談員（看護師や医療ソーシャルワーカー）がそれぞれの資格の特性を活かしてお話を伺い、状況の整理や必要な情報提供を行うとともに、相談者の望む生活や治療を一緒に考えます。

なお、相談費用は無料で、ご相談いただく際は匿名でも差し支えありません。電話でお問合せいただくか、きぼう棟2階のがん相談支援センター窓口までお越しください。また、ご相談はご本人やご家族のほか、当院を受診されていない方など、どなたからでも可能です。



下記相談会を実施しております
(申込：024-547-1088)

出張 ハローワーク	毎週水曜日 14:00/15:00
出張 社会保険労務士	毎月第4木曜日 13:00/14:00 15:00
患者会	毎月第4金曜日

専門家による相談体制も充実しております。仕事と治療の両立に悩みを抱えている方のために、社会保険労務士の個人面談で、治療と仕事の両立や傷病手当金、障害年金について相談することができます。お仕事を探している方のためには「ハローワークの出張相談」、がん患者や家族が語り合う場として「ピアサポートサロンひかり」、順天堂大学の樋野興夫名誉教授による「がん哲学外来」も開催しております。ご興味がある方はがん相談支援センターまでご連絡ください。

がんと診断されたとき、多くの方が大きな衝撃を受け、気持ちが動揺されます。また、治療時や治療後まで不安や悩みが続くことも少なくありません。そんなとき、誰かに話をするとつらさが少し和らぐことがあります。がんについて不安や悩みがある際は、ぜひ一度、当院のがん相談支援センターへご相談ください。お問合せをお待ちしております。

第64号のなかみ

- 1 ページ...○がん相談支援センターにご相談ください
- 2 ページ...○永年勤続表彰
○永年勤続表彰を受けて

- 3 ページ...○薬剤師の取組み紹介
○どこでもできる運動で冬も健康に！
- 4 ページ...○はしご車でこども達にエールを！
○きいてください 院長さん

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院
入院セットレンタル

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口
024-548-8777



* 院内1階、入退院受付横 9番窓口
月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休日)
土曜日はきぼう棟1階ローソン南側にて営業します。



令和5年度永年勤続表彰受賞者

神経解剖・発生学講座	教授	八木 沼洋行
微生物学講座	教授	錫谷 達夫
衛生学・予防医学講座	教授	福島 哲仁
公衆衛生学講座	教授	安村 誠司
心臓血管外科学講座	教授	横山 斉
別科助産学専攻	教授	太田 操
生化学講座	主任医療技師	星 京香
生体機能研究部門	主任医療技師	橋本 裕美
附属実験動物研究施設	主任動物管理職員	丹治 静保
患者サポートセンター	主任看護技師	遠藤 静
歯科口腔外科	主任医療技師	遠藤 裕子
放射線部	専門放射線技師	高橋 克広
放射線部	専門放射線技師兼係長	池田 正光
放射線部	専門放射線技師兼係長	樵 勝幸
内視鏡診療部	主任医療技師	山田 ゆき江
臨床研究センター	主任医療技師	吉田 詠子
看護部	副部長	仁井田 美江

看護部	看護師長	戸澤 香織
看護部	看護師長	加藤 園
看護部	看護師長	菅澤 信江
看護部	助産師長	服部 桜
看護部	副助産師長	渡辺 裕美子
看護部	副助産師長	久保 みさえ
看護部	主任看護技師	大和田 貴子
看護部	主任看護技師	澤原 由美子
看護部	主任看護技師	阿部 祐美
薬剤部	専門薬剤技師兼係長	五十嵐 暁子
医事課(給食管理係)	主任調理師	大橋 理恵



集合写真

永年勤続表彰を受けて

心臓血管外科部長 横山 斉



2001年に心臓血管外科部長として着任し、この度、永年勤続表彰を受けることができました。着任時の心臓血管外科手術は年間100例ほどでしたが、この20年間で外来・病棟再編および手術室増設な

どの福島医大病院全体の進化に伴い、現在は年間300例以上の手術を施行する全国有数の心臓血管外科施設となりました。小児の先天性心疾患（ファロー四徴症など）、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患（冠動

脈バイパス手術）、心臓弁膜症（弁形成術、人工弁置換術）、大動脈疾患（ステントグラフト）、重症心不全（人工心臓植え込み術）など新生児から高齢者までの心臓大血管疾患に幅広く対応することが可能です。

なお手術の約3割は、急性大動脈解離や動脈瘤破裂など24時間365日の緊急手術が必要な「生死を分ける疾患」の治療です。一刻を争う救命的治療にご協力いただいた県内各地域の救急病院、救急隊および院内の各部署の医療人と医療をサポートする方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

末尾となりましたが、今後とも福島医大病院が福島県最後の医療の砦として、より一層の社会貢献を果たしてゆくことを信じてやみません。

薬剤師は、お薬の調剤のみならず、院内のさまざまな場所で業務に当たっています。病棟もその中のひとつで、薬剤師は患者さんが入院された際には面談を行い、「薬に対するアレルギーがないか」「手術前に服用を中止すべきお薬がないか」「薬が飲みづらくお困りでないか」など、お薬の処方をするにあたって必要な情報を収集します。また、入院中も飲み薬や注射薬の処方について、お薬同士の相性などを毎日確認し、患者さんが安心して治療を受けられるようサポートしております。

また、薬剤師は最近話題になっている「医師の働き方改革」にも関わっています。一部の病棟薬剤師が医師に代わって処方箋の下書きを作成していることもその取組みのひとつです。この取組みにより、医師の視点だけでなく、お薬のスペシャリストである薬剤師の視点も取り入れた、より効果的なお薬の処方をお出し

することが可能となっています。

当院には、がん薬物療法・栄養・緩和・糖尿病などの専門的な知識を持つ薬剤師が多く在籍しており、医師や看護師などと協力しながら、これからも患者さんに最適なお薬を提供してまいります。

入院された際やお薬の処方を受けた際など、お薬のことでご不明な点がある場合は、院内の薬剤師にお気軽にお声がけください。全力でみなさんをサポートしてまいります。



入院時面談の様子

どこでもできる運動で冬も健康に！

リハビリテーションセンター

最近のニュースで「厚生労働省の専門家検討会は、健康づくりのために推奨される身体活動・運動の目安となるガイド案をまとめた」という発表がありました。その内容は、「成人は1日60分以上、高齢者は1日40分以上の歩行運動を推奨する」、「成人・高齢者ともに一定の負荷のかかる筋力トレーニングは週2～3回を推奨する」といったものでした。

しかし、この内容を見ると「ハードルが高すぎる」「続けられる自信がない」といった声が聞こえてきそうですね。「運動が健康にはいいとはわかっていてもなかなか続けられない」という方も少なくないと思います。これから寒い時期になってくると、おうちの中で過ごす時間が長くなり、ますます運動する機会が少なくなってきました。

そこで、私たちがおすすめする運動は、日常生活に少しずつ取り入れることができる「～しながら」「～の合間にする」運動です。具体的には右記のような運動が挙げられます。



①デスクワーク中のできるかかと上げ



②ドライヤー中のできるスクワット

この他にも、インターネット上には福島県立医科大学 保健科学部が監修した室内でできるさまざまな運動法が「1日1動」というテーマで動画公開されております。

ぜひ「1日1動」と検索して参考にしてみてください。今年の冬も健康に乗り切ってください。

FUKUSHIMA NIIDA MODEL HOUSE No.57

UNNO HOUSE ☎0120-36-1131

イベント情報

共に働く仲間を募集します！

正社員（1年毎更新有）・パート同時募集

■入院会計・診療報酬請求業務

勤務場所/福島県立医科大学附属病院
勤務時間/8:30～17:15（昼休憩60分）7時間45分勤務
給 与/月給147,000円～（手当含む）*経験・資格等で決定します
賞 与/年2回・4カ月支給
福利厚生/資格取得に関する補助金制度有

経験者大歓迎！
未経験者でも、あなたのやる気をお待ちしております。
先ずはお電話ください☎024-548-0800（担当/石川・小泉）
創業51年、安心して働ける職場づくりを目指しています

東京医療化学株式会社

はしご車で子ども達にエールを！ 病院管理課

11月4日（土）、当院みらい棟小児病棟において、福島南消防署のはしご車による消防訓練を兼ねた慰問がありました。

病棟で火災が発生した想定で119番通報をし、福島南消防署よりはしご車とタンク車が1台ずつ出動しました。病棟の子ども達は、はしご車の仕組みについて消防署の方から説明を受け、実際にはしご車から放水を行うところを窓ガラス越しに見学しました。



子ども達は大変な入院生活の中ではありますが、楽しいひとときを過ごすとともに、消防士のみなさんからパワーをいただけたようです。病院スタッフも、消防訓練を通して火災が発生した際に必要な対応を見直すことができました。

ご協力いただきました福島南消防署のみなさんに心から感謝申し上げます。



◀消防士の方がメッセージを送る様子



きいてください 院長さん
—より良い医大病院にするために—

いただいた御意見

「病棟食堂に掲示している飲食禁止の掲示物は、テーブルの上に掲示したほうが皆の目にうつりやすいです。」

⇒ ご意見を踏まえ、掲示箇所をテーブルに貼り付けることとしました。

「トイレの（入口）ドアの細かいガラスが丸見えです。せめて、半分はすりガラス状がいいと思います。」

⇒ ご意見を踏まえ、トイレの入口については、目隠し用ガラスフィルムを貼り付けました。

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。

すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**
窓口営業時間：平日【午前の部】9:00から11:30
【午後の部】12:30から15:00
電話 024-548-5331 受付時間：平日 9:00から11:30
12:30から17:00